



Vol.237

令和元年 8月20日発行

# 土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

## 令和元年 第1回土浦市議会報告会開催日決定！



平成30年度 議会報告会

土浦市議会報告会では、議会の3つの委員会の活動について、広くお知らせをするとともに、市民の皆さまから議会について、生のご意見をいただく貴重な機会と考えておりますので、皆さまのご来場をお待ちしております。

とき 令和元年11月20日(水) 午後2時から

ところ 土浦市議会第3委員会室(土浦市役所4階)

内容 各常任委員会からの議会活動状況報告、意見交換

詳しくは、11月上旬にホームページでお知らせします。



令和元年第2回定例会では、9月28日(土)から開催される第74回いきいき茨城ゆめ国体をPRするため、会期中に国体のロゴが入ったポロシャツを多くの議員が着用しました。9月に開催される第3回定例会でも多くの議員が着用する予定です。

また、今回の「国体」では、目黒英一議員もパワーリフティングの部にエントリーしておりますので、併せて応援をしていきます。

定例会中に  
国体ポロシャツ着用し、  
国体をPRしました

土浦市議会では、土浦市議会基本条例第25条第1項に基づき、一般選挙後の任期開始となることから速やかにこの条例の目的が達成されているかどうかについて検証を行うものとなっております。

- ・第4条(議会の活動原則)
- ・第6条(委員会)
- ・第14条(市長との関係)

などについて、(平成27年5月から平成31年4月の期間に、土浦市議会議員であった現職20名へのアンケート調査)を基に検証を行いました。

検証結果については、土浦市のホームページに掲載しております。

土浦市議会基本条例の  
検証を行いました

### 目次

- 令和元年第1回議会報告会の開催について ..... 1
- 令和元年第2回定例会の結果 ..... 2
- 一般質問
  - 吉田千鶴子・柏村忠志・久松 猛・奥谷 崇 ..... 3
  - 田子優奈・目黒英一・福田一夫・海老原一郎・勝田達也 ..... 4
  - 塚原圭二・島岡宏明・矢口勝雄・柳澤 明 ..... 5
- 《特集1》  
会派の主張「会派の代表に聞きます！」 ..... 6、7
- 《特集2》  
「新しい議員ってどんな人？」 ..... 8
  - 9月定例会(第3回)の日程 ..... 8
  - 編集後記 ..... 8

### <インターネットで市議会の模様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

### <議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

○土浦市立図書館 ○各中学校区の地区公民館  
○支所・出張所(南・上大津・都和・神立・新治)  
※最新となる会議録(令和元年第2回)は、8月下旬に閲覧可能となります。



## <第2回> 定例会で 決まったこと

**条例の一部改正など  
16件全議案を原案可  
決・諮問1件を同意**

令和元年第2回定例会は、6月4日(火)から18日(火)までの15日間の会期で開かれました。  
介護保険条例の一部改正など条例の改正に関する議案や一般会計補正予算などの議案16件、諮問1件が、市長から提出されました。

市議会では慎重に審議した結果、原案どおり可決となりました。

初日には監査委員の選任、最終日には、土浦市固定資産評価審査委員会委員の選任、土浦市教育委員会委員の任命について、さらには、人権擁護委員候補の推薦についても審議し、同意しました。

**一般質問には13人が  
登壇**

6月10日、12日の3日に一般質問が行われ、13人の議員が市執行部に對し、市政一般について質問しました。  
一般質問の内容については、3頁から掲載しておりますので、ご覧ください。

**土浦市監査委員の選  
任について原案同意  
しました**

土浦市監査委員の選任について審議し、これに同意しました。

委員  
下村 壽 郎 氏

**土浦市固定資産評価審  
査委員会委員の選任に  
ついて同意しました**

土浦市固定資産評価審査委員の選任について審議し、これに同意しました。

委員  
市原 和 弘 氏  
杉 本 征 弘 氏  
櫻 井 智 佳 子 氏  
藤 野 安 生 氏  
外 山 茂 樹 氏  
佐 用 智 子 氏

**土浦市教育委員会委  
員の任命について原  
案同意しました**

土浦市教育委員会委員の任命について審議し、これに同意しました。

委員  
鈴木 敏 之 氏

**人権擁護委員候補者  
の推薦について答申  
同意しました**

人権擁護委員候補者の推薦についての諮問があり、これに同意しました。

委員  
幸子 氏

### 議案等議決結果

議案番号等	件 名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	元. 6. 4	元. 6. 4	原案可決
報告第12号	予算の繰越しについて(平成30年度土浦市一般会計継続費繰越計算書)	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第13号	予算の繰越しについて(平成30年度土浦市一般会計繰越明許費継続費繰越計算書)	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第14号	予算の繰越しについて(平成30年度土浦市一般会計事故繰越し繰越計算書)	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第15号	予算の繰越しについて(平成30年度土浦市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書)	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第16号	予算の繰越しについて(平成30年度土浦市水道事業会計継続費繰越計算書)	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第17号	予算の繰越しについて(平成30年度土浦市水道事業会計予算繰越計算書)	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第18号	土浦市土地開発公社の令和元年度事業計画について	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第19号	一般財団法人土浦市産業文化事業団の令和元年度事業計画について	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第20号	一般財団法人土浦市農業公社の令和元年度事業計画について	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
報告第21号	株式会社ラクスマリーナの令和元年度事業計画について	元. 6. 4	元. 6. 4	報 告
議案第69号	土浦市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第70号	土浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決

議案番号等	件 名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第71号	土浦市介護保険条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第72号	土浦市沖宿漁港管理条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第73号	土浦市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第74号	土浦市水道事業の設置等に関する条例及び土浦市水道事業給水条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第75号	土浦市火災予防条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第76号	土浦市特別職の職にある者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第77号	令和元年度土浦市一般会計補正予算(第3回)	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第78号	令和元年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第1回)	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第79号	令和元年度土浦市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第80号	市道の路線の認定について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第81号	市道の路線の廃止について	元. 6. 4	元. 6. 18	原案可決
議案第82号	土浦市監査委員の選任の同意について	元. 6. 4	元. 6. 4	原案同意
議案第83号	土浦市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	元. 6. 18	元. 6. 18	原案同意
議案第84号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	元. 6. 18	元. 6. 18	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	元. 6. 18	元. 6. 18	答申同意
	閉会中の事務調査について	元. 6. 18	元. 6. 18	原案可決

### 政治倫理審査委員会委員決定

政治倫理審査委員会とは

議員が市政に対する市民の負託に応えるため、市民全体の奉仕者として、その倫理性を自覚し、公正かつ清廉を基本姿勢とする議員活動により、政治倫理の確立を期することを目的として「土浦市議会議員の政治倫理に関する条例」が定められ、議員がこの条例に違反すると認められるかどうかについて審査する機関です。任期満了に伴い、6月7日から2年の任期で8名の方が市長の推薦を得て、議長が委嘱しました。委員は、専門的識見を有する者と市民の代表から構成されています。

専門的識見を有する者

秋山 環 氏 弁護士  
鈴木 實 氏 弁護士  
○安田 英二 氏 元土浦市公平委員  
市代表  
○安田 英二 氏 税理士  
○副委員長(五十首順)  
渡邊百合子 氏 公認会計士  
市民代表  
大山 清 氏 田口長八郎 氏  
田嶋 光夫 氏 松延 芳子 氏  
渡邊百合子 氏

### 市民と委員会との意見交換について

土浦市議会では、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会において、市民からの要請があった時は、委員会における審査の経過等の説明や意見を交換する場を設けるよう、市議会基本条例第6条3項に規定しています。議員から直接説明を受けることができます。詳細は、議会事務局まで。

### 土浦市議会基本条例第6条(抜粋)

第6条 (委員会)  
委員会は、多様な市政の課題に迅速かつ的確に対応するため、機動的に開催するとともに、委員会の専門性と特性を活かし、その機能を発揮するよう運営しなければならない。(中略)  
3 委員会は、市民からの要請があるときは、審査の経過等を説明するとともに、必要に応じて意見を交換する場を設けるよう努めるものとする。(後略)

## 全国から視察団が来ています!

全国から視察団が来ています！  
本市の先進的な事業を調査研究するため、全国各地から市議会議員が行政視察に訪れています。  
(平成30年度に土浦市へ視察に訪れた市議団等)

### 平成30年度行政視察来訪一覧

視察日	議会名	人数	内容	担当課
4月24日	三重県四日市市	8	・土浦市立図書館について	図書館
5月2日	千葉県船橋市	2	・まちづくり活性化バス「キララちゃん」について ・のりあいタクシーについて	商工観光課 高齢福祉課
7月3日	栃木県那須町	7	・「のりあいタクシー土浦」会費助成事業について	高齢福祉課
7月6日	長野県岡谷市	6	・環境保全に対する取り組み(湖上セミナーなど)について	環境保全課
7月19日	静岡県島田市	3	・民間商業施設を活用した新庁舎整備事業について	管財課
7月19日	岩手県久慈市	8	・土浦駅前北地区市街地再開発事業について(計画の経緯、概要)	都市計画課 図書館
7月26日	石川県小松市	8	・地域公共交通の活性化(キララちゃんバス)について	商工観光課
7月31日	静岡県湖西市	9	・在宅医療と介護の連携について	高齢福祉課
8月1日	新潟県上越市	8	・マイ時刻表サービスの取組について ・「つくば霞ヶ浦りんりんロード」基点としての取り組みと効果について	都市計画課 政策企画課
10月23日	茨城県阿見町	8	・土浦市議会の議会中継の取り組みについて	議会事務局
10月31日	埼玉県吉川市	22	・つちうらシティプロモーション戦略プランについて	広報広聴課
1月9日	熊本県八代市	7	・障がい者基幹型相談支援センターについて	障害福祉課
1月23日	秋田県秋田市	4	・土浦市図書館(アルカス土浦)の取り組みについて ・中心市街地活性化への取り組みについて	図書館 都市計画課

# 一般質問



吉田 千鶴子 <一括質問>

## 放課後児童クラブについて

Q 送迎時間の延長について、現在、本市の休日の預け入れ時間は朝8時からとなつていますが、預け入れを7時30分からは、お迎え時間を平日、休校日ともに夕方

時まで延長していただきたいと思います。ご所見をお伺いします。

### A【教育部長】

児童クラブの開所時間は、授業終了後から午後6時30分、長期休業日等については午前8時から午後6時30分となり、これは平成19年度の児童クラブ有料化にあわせて、開所時間を30分延長しています。

なお、開所時間内での児童の送迎を保護者などをお願いしていますが、お迎えが困難な方には、土浦市社

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を二つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では、「一括質問・一括答弁」方式を選択した議員が10名、「二問一答」方式を選択した議員は3名おりました。

会福祉協議会で行っていただく児童の送り迎えができる「土浦市ファミリーサポートセンター」の送迎サービス利用を勧めております。

開所時間の延長は、仕事と子育てが両立できる環境をつくる上で、重要だと認識していますが、人材の確保や雇用条件の変更、予算の確保などの条件整備が必要となります。

また、現在の開所時間での運営においても、児童クラブ支援員の人員確保が困難な状況が続いているので、本市では、平成28年度

### 【その他の質問事項】

- 災害時用の備蓄食品の有効活用等について
- アルカス土浦の新図書館について



柏村 忠志 <一問一答>

## 土浦駅西口広場の活用について

Q 土浦駅西口広場のJR(当時「国鉄」)所有面積及び工事面積、同土浦市所有面積及び工事面積、また、タクシー、バス等の西口広場への乗入、駐車承認及び占有料金について答弁を求めます。

土浦駅西口広場の面積が都市計画決定を受けた9,800平方メートルとなり、駅舎側の3,610平方メートルがJR東日本、市本庁舎側の6,190平方メートルが市の所有面積となり、西口広場全体の面積が9,800平方メートルに

継承されるように定め

当時は日本庭園が中央にあり、駅前の憩いの場となっていました。タクシーの乗降も増加したことから、バリアフリー基本構想に合致した、人及び車等の利用者が、安全で安心に移動できる広場への改修を目的として、平成26年度から日本庭園の撤去工事などの改修工事に着手し、平成29年度に完了しています。

土浦駅西口広場の面積について、全体計画面積が都市計画決定を受けた9,800平方メートルとなり、駅舎側の3,610平方メートルがJR東日本、市本庁舎側の6,190平方メートルが市の所有面積となり、西口広場全体の面積が9,800平方メートルに

いて改修工事を実施しています。また、タクシー、バス等の西口広場への乗り入れの駐車承認及び占有料金については、日本国有鉄道との分割、民営化に伴い、昭和47年度に成立した「都市計画による駅前広場の造成に

ついての建設省・日本国有鉄道申し合わせ」により、旧建設省及び旧運輸省の昭和62年度に締結した新協定が関係するもので、この新協定の中では、「昭和62年4月1日現在、工事施工中の駅前広場に係る当該工事施行協定に基づき、国鉄の一切の権利及び義務は、日本国有鉄道改革法第19条3項に規定する、「実施計画」中において、旅客会社等に

継承されるように定め



久松 猛 <一問一答>

## 熱中症対策について 防災無線を活用した注意の喚起について

Q 平成30年第3回定例会で、適切な活用を検討するという答弁をいただきましたが、今後の対応について改めてお伺いします。

### A【総務部長】

本市では、広報紙、ホームページの活用やリーフ

レットの配布により、熱中症の予防法や応急処置などを広く市民へ周知・啓発するとともに、救急車両による広報活動など、様々な手段による注意喚起を実施してきました。特に昨年は、「命に関わるほどの酷暑」や、「災害級の暑さ」と表現されるほどの猛暑であったことから、平成30年第3回定例会にて、防災行政無線を活用した熱中症の注意喚起についてのご提案をいただきました。

地球温暖化による気温上昇に伴って、熱中症患者が増加傾向にもあることから、当日の最高気温が概ね35℃になることが予想される場合に、気象庁が発表する「高温注意情報」を判断

基準として、今年度から運用を開始することとしました。放送する時間帯については、午前9時と午後2時の一日2回とし、その内容については、「屋外での活動を控え、小まめに水分補給するなど、熱中症に注意してください」といったものであります。



奥谷 崇 <一括質問>

## 荒川沖駅(東口)、土浦駅(東口)のトイレについて

Q 改修予定の有無、日々の清掃作業及びメンテナンスについてお伺いします。

荒川沖駅東口の公衆トイレについては、平成3年度に改築工事を行い、平成24年度には、身体障害者用トイレを多目的トイレに改修しています。前回の改築工事から27年が経過しており、施設全体が老朽化しています。

本年度は改修に向けた実施設計を予定しており、街の玄関口としてふさわしい施設整備に向けて、現在準備を進めております。

また、土浦駅東口の公衆トイレについては、平成27年度に多目的トイレを新設し、バリアフリー化の推進を図っています。荒川沖駅同様、施設の老朽化のため、適時修繕等を行い、改修については、施設の状態を見極めながら検討してまいります。

日々の清掃作業及びメ

### <議会を傍聴しませんか!!>

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付(庁舎4階傍聴席入口)で、住所・氏名等を記入して入場してください。ぜひご来場ください。



# 意外と〇〇! つちうら

意外とグルメ、意外と便利、意外と遊べる...などなど 意外と〇〇な土浦の魅力を 紹介するサイトへ GO! <http://www.tsuchiura-pr.jp/>



田子 優奈 <一括質問>

### 公共交通の充実について

Q 市民の強い願いである市内全域をめぐる循環バスの早期実現をさせるべきと考えます。ご答弁をお願いします。

A【都市産業部長】本市では、まちづくりとの連携を図りながら、各公共交通が相互に補完し合うネットワークを構築し、持続可能な公共交通網の形成を推進することを目的に、

「土浦市地域公共交通網形成計画」を策定し、公共交通圏域の確保・維持や公共交通不便地域の解消のため様々な施策に取り組んでいます。

まず、公共交通圏域の確保・維持については、広域バス路線やキララちゃんバスへの運行支援を行っているほか、かすみがうら市地域公共交通会議により本年10月から運行となる、神立駅と協同病院を結ぶ「千代田神立ライン」への一部負担を行うこととしております。

公共交通不便地域への対応としましては、コミュニティ交通に適合する地域として位置づけた地域の地区長を対象に、コミュニティ交通導入に関する説明会を開催してまいります。

また、AEDの配置にあわせ、多くの方々に心臓マッサージやAEDの使用方法などの心肺蘇生術を身に付けていただくため、年に200回以上の救命講習会を実施しており、小学生から成人まで、毎年約7,000人を超える方に受講をいただいております。



黒英 一 <一括質問>

### AEDの有効利用について

Q 既存のAEDの屋外設置、公用車への配備・救命ボランティア等使用者の裾野を広げる取り組みについて

#### A【消防長】

心肺停止状態に陥った場合、一刻も早い救命処置の実施の有無が、その後の生死を分けることになりま

また、デマンド型交通が適する地域については、市内在住の65歳以上の方が対象となりますが、のりあいタクシー土浦により対応を

返納された高齢者に年会費の全額助成(1回)を行っているほか、改善策を提案し、運行事業者に取り組みをいただいております。

なお、まちづくり上重要となる各駅間、駅と地域間、駅周辺を循環する路線については、民間バス事業者への働きかけを行うなど、各公共交通の特性や地域の状況を考慮し、機能分担を図る取り組みを進めてまいります。

また、AEDの配置にあわせ、多くの方々に心臓マッサージやAEDの使用方法などの心肺蘇生術を身に付けていただくため、年に200回以上の救命講習会を実施しており、小学生から成人まで、毎年約7,000人を超える方に受講をいただいております。

また、公用車へのAED配備のご提案については、まずは消防本部において、緊急出場時以外の調査活動等で市内を巡回する際にもAEDを積載し、救急現場に遭遇した際の対応に備えることから始めたいと考えています。

また、公用車へのAED配備のご提案については、まずは消防本部において、緊急出場時以外の調査活動等で市内を巡回する際にもAEDを積載し、救急現場に遭遇した際の対応に備えることから始めたいと考えています。

#### その他の質問事項

・ヘルプマークの配布方法・周知徹底について



福田 一夫 <一括質問>

### 道路狭隘地域の防災について

Q 地域の掌握、地域の防災計画についてお伺いします。

#### A【総務部長】

道路は、地震や火災時の避難、救助活動、延焼防止、緊急車両の進入など、非常に重要な役割を担っております。本市には、数多くの狭隘道路が散在し、住環境や都市防災などでも課題となっており、住宅等の建築

物が建ち並ぶ狭隘道路などの詳細については、現在、委託調査を行い、現況の把握に努めています。

これまで我が国の防災基幹計画は、国が定める総合的かつ長期的な計画「防災基本計画」と都道府県及び市町村が定める計画「地域防災計画」があり、それぞれにより防災施策が推進されてきました。

しかし、大規模災害が発生した場合には、まず自身自身で命と身の安全を守ることが重要であり、自助・共助・公助が連携しないと災害対応が円滑に行われな

地域単位の自発的な防災活動に関する地区防災計画制度が平成26年から新たに創設され、本市では、町内会単位で結成されている自主防災組織により、自発的に自らの地区の防災活動や避難行動を反映した計画を策定している地域もあります。



海老原 一郎 <一括質問>

### 子どもの見守り隊について

Q 土浦市内全小学校の子ども見守り活動はどのような状況なのか。

#### A【教育長】

本市では、中学校区ごとに生徒指導推進協議会を設置し、地区長、民生委員・児童委員、青少年相談員、学校の管理職や生徒指導主事などが、年2回から3回登下校の安全対策や防犯対策などの協議を行っており、

地域の防災計画の作成により、自助・共助の強化が図られ、効果的な防災活動が期待されることから、今後、作成について啓発・促進を図るとともに、計画の作成や見直しを行う地域に対し、防災力の向上につながるよう適切な支援に努めてまいります。

市道1級17号線(真鍋神林線延伸道路)について

市立博物館では、土浦の歴史や民俗の調査研究活動として、毎年特別展や企画展などの展示公開活動を行い、この中で土浦の中心市街地にスポットをあてた近年の代表的な展示としては、平成25年度に全国各地の大家の名刀と甲冑を紹介した「婆娑羅たちの武装」展、平成28年度には、城下町の名残が今も残る中城の老舗の資料等を基にした「まちのしるし」しるしが語る土浦の近代」展と近

市立博物館では、土浦の歴史や民俗の調査研究活動として、毎年特別展や企画展などの展示公開活動を行い、この中で土浦の中心市街地にスポットをあてた近年の代表的な展示としては、平成25年度に全国各地の大家の名刀と甲冑を紹介した「婆娑羅たちの武装」展、平成28年度には、城下町の名残が今も残る中城の老舗の資料等を基にした「まちのしるし」しるしが語る土浦の近代」展と近

市立博物館では、土浦の歴史や民俗の調査研究活動として、毎年特別展や企画展などの展示公開活動を行い、この中で土浦の中心市街地にスポットをあてた近年の代表的な展示としては、平成25年度に全国各地の大家の名刀と甲冑を紹介した「婆娑羅たちの武装」展、平成28年度には、城下町の名残が今も残る中城の老舗の資料等を基にした「まちのしるし」しるしが語る土浦の近代」展と近

市立博物館では、土浦の歴史や民俗の調査研究活動として、毎年特別展や企画展などの展示公開活動を行い、この中で土浦の中心市街地にスポットをあてた近年の代表的な展示としては、平成25年度に全国各地の大家の名刀と甲冑を紹介した「婆娑羅たちの武装」展、平成28年度には、城下町の名残が今も残る中城の老舗の資料等を基にした「まちのしるし」しるしが語る土浦の近代」展と近

#### その他の質問事項

・土浦市通学路交通安全プログラムについて



勝田 達也 <一括質問>

### 中心市街地における歴史と文化の発信について

Q 歴史・文化への取り組みについての考え方とこれまで行って来た施策と文化振興に携わる部局と他部局との連携についてお伺いします。

#### A【教育部長】

市立博物館では、土浦の歴史や民俗の調査研究活動として、毎年特別展や企画展などの展示公開活動を行い、この中で土浦の中心市街地にスポットをあてた近年の代表的な展示としては、平成25年度に全国各地の大家の名刀と甲冑を紹介した「婆娑羅たちの武装」展、平成28年度には、城下町の名残が今も残る中城の老舗の資料等を基にした「まちのしるし」しるしが語る土浦の近代」展と近

「競技大会のあゆみ」・「花火と土浦II」祈る心・競う技」展などが挙げられ、平成31年度の特別展では、令和元年5月6日まで開催していました霞ヶ浦海軍航空隊と土浦のまちの関わりを紹介した「町の記憶」空都土浦とその時代」展を開催し、1万人を超える来館者が訪れました。

また、平成22年度に商工観光課と市学芸員が協力して作成した「土浦古絵図ぶらりまち歩きマップ」は、市民はもとより観光客の皆様にも好評と伺っております。今後も、土浦の中心市街地に残された様々な歴史や文化資源を紹介し、市民の皆様や土浦を訪れる方に土浦の魅力を発信できるように努めてまいります。

また、平成22年度に商工観光課と市学芸員が協力して作成した「土浦古絵図ぶらりまち歩きマップ」は、市民はもとより観光客の皆様にも好評と伺っております。今後も、土浦の中心市街地に残された様々な歴史や文化資源を紹介し、市民の皆様や土浦を訪れる方に土浦の魅力を発信できるように努めてまいります。

また、平成22年度に商工観光課と市学芸員が協力して作成した「土浦古絵図ぶらりまち歩きマップ」は、市民はもとより観光客の皆様にも好評と伺っております。今後も、土浦の中心市街地に残された様々な歴史や文化資源を紹介し、市民の皆様や土浦を訪れる方に土浦の魅力を発信できるように努めてまいります。

また、平成22年度に商工観光課と市学芸員が協力して作成した「土浦古絵図ぶらりまち歩きマップ」は、市民はもとより観光客の皆様にも好評と伺っております。今後も、土浦の中心市街地に残された様々な歴史や文化資源を紹介し、市民の皆様や土浦を訪れる方に土浦の魅力を発信できるように努めてまいります。

また、平成22年度に商工観光課と市学芸員が協力して作成した「土浦古絵図ぶらりまち歩きマップ」は、市民はもとより観光客の皆様にも好評と伺っております。今後も、土浦の中心市街地に残された様々な歴史や文化資源を紹介し、市民の皆様や土浦を訪れる方に土浦の魅力を発信できるように努めてまいります。

#### その他の質問事項

・土浦市通学路交通安全プログラムについて



### 〈請願・陳情の受け〉

市議会では、市民の皆様のご要望や意見を「請願」「陳情」として常時受け付けておりますが、定例会で取り扱うものは、定例会招集日の4日前までに提出されたものに限ります。くわしくは、議会事務局ホームページから「請願・陳情」をご覧ください。



塚原圭二 <一括質問>

### 中心市街地活性化 (ごぎわらづくり) について

Q 新しく完成した亀城モールは、土浦駅周辺とまちかど蔵、亀城公園をつなぐ重要な場所と位置付けられると思います。どのように有効活用されていくのか、お伺いします。

#### A【都市産業部長】

亀城モール整備事業については、中心市街地の回遊

ルートの中心に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点までの延長約180メートルの区間を整備し、歩行者等の安全性を高めることに加え、憩いの空間としての活用を図り、にぎわいを創出するとともに、中心市街地の回遊性向上を目的としております。

本年3月には、1期工事として約150メートルの区間が完成したところですが、設計コンセプトとしましては、亀城公園やまちかど蔵などの歴史資産へと誘う空間を演出するとともに、来訪者にとって憩いの場所となるよう、植栽や自然石を利用したベンチの設置に加え、舗装はモールド505と連続した意匠とし、中央部分には、かつて

この付近を流れていた川口の面影をカラー舗装で再現いたしております。また、本事業は、道路事業として歩道の整備を行うものが、土浦駅と亀城公園を結ぶ都心軸の中心部に位置することから、イベント等を使いやすい空間となるよう、イベント利用のスペースの確保やがたつきにくい舗装とするとともに、電源や水道施設の設定、また街路灯の整備をしており、今後、市民団体等を始め、市のイベントでの有効活用を図ってまいります。

#### 【その他の質問事項】

・牛久土浦バイパスの進捗状況について



島岡宏明 <一括質問>

### 中学校一年生(7年生)で行われている 宿泊体験学習について

Q 宿泊体験学習がはじまってこれまでの状況、宿泊体験学習を通して子ども達が身につけたこと、これから宿泊体験学習をつづけていく上での考え方についてお伺いします。

#### A【教育部長】

宿泊体験学習は、生徒たちが寝食をともにしながら、

協調性や社会性を育み、より良い人間関係を築く、生徒の規範意識の高揚や我慢する心・感動する心の育成など、心の教育の充実を図る、生徒がたくましく生き抜くための健康や体力を培うなどを目的としており、星座観察、野外炊飯活動などを行ったり、生徒同士での討論や夜間に自習時間を設けたりするなど、中学校ごとに様々な工夫をしながら、現在まで14年間継続して実施しています。

本市では毎年、各中学校からの報告書を基に、宿泊体験学習の成果についてまとめられています。生徒のアンケートでは、友達の新たなよさに気づくことができた、思いやりの気持ちを持ち、友達と協力できたなど、9割以上の生徒たちが宿泊体

験学習での成果を実感しており、充実した活動となっていると考えています。

また、保護者のアンケートでは、多くの保護者の方々が思いやり・協力、基本的な生活習慣、責任感、勤労・奉仕の力が身についたなどの回答があり、生徒たちは宿泊体験学習を通して、共同性や規範意識が高まり、思いやりの心を養うなど、生きる力を育むための大切な要素を身につけてきていると考えています。

本市としましては、各中学校と協議を重ねながら、第8次土浦市総合計画で掲げる生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実のために多方面からの意見を取り入れ、宿泊体験学習の内容の充実を図ってまいります。



矢口勝雄 <一括質問>

### 選挙の投票率について

Q 投票率の低下要因についてどう考えているか、18才から選挙権が与えられ初めての市議選であったが、年代別の投票率低下年齢層の啓蒙活動についてお伺いします。

#### A【総務部長】

国政選挙、地方選挙とも投票率の低下については全国的な傾向であり、近

年は衆議院議員総選挙や参議院議員通常選挙の投票率が5割台、統一地方選挙にあつては4割台の投票率となっております。本年4月の土浦市議会議員一般選挙の投票率については、毎回、県への報告としている指定の投票所のデータでは、20歳代前半が一番低く15.09%で、市全体の投票率の半分以下となっております。20歳代以降は、年齢が上がるにつれて投票率は高くなるという傾向で、一番高かったのは70歳代後半の63.74%で、18歳・19歳の10歳代については27.87%で、30歳代後半の年代とほぼ同様の投票率となっております。

また、総務省では、子どもの頃に親の投票について

物物は危険な物質であるため、フッ化物洗口について理解した上で個人的に行うことはよいが、一律に集団で実施する必要はない」ということ。次に、理由の2つ目、「学校では給食後に歯磨きを行っており、歯磨き粉にもフッ化物が入っているため、それに加えてフッ化物洗口を導入する必要はない」ということ。

理由の3つ目として、「養護教諭など学校現場からはやる必要がないという意見がある」ということです。

Q 教育委員会においても様々検討されてきたと思いますが、現在のフッ化物洗口に対する認識について、お伺いします。

#### A【教育長】

学校における集団でのフッ化物洗口の実施については、平成30年6月議会の文教厚生委員会においてご提案をいただいた際に、実施は考えていないとお答えしたところで、その理由の一つとして、「フッ

行ったことがあるの方が、行って行つたことのない人と比べて投票した割合が高くなる」との調査結果に基づき、親子連れの投票を推奨する啓発チラシを作成しており、こうした新たな手法による啓発を参考に、本市においても、成人式会場での啓発パンフレットの配布、小中学生、高校生への選挙啓発ポスターの募集、中学生を対象とした「18歳の私へ」というメッセージの募集、生徒会役員選挙の際の投票箱等の貸し出しなど、選挙に関する啓発活動に取り組んでおります。

主権者教育や若年層への周知の重要性を十分に認識していることから、各学校での出前講座や地元大学の学

選択し、活用できるようにすることが基本と考えています。なお、文科科学省の学校歯科保健参考資料においては、学齢期における虫歯予防について、フッ化物配合の歯磨き粉の機能を知り、実践に生かすことができるようにすることが、重要項目の1つとして挙げられており、茨城県教育委員会において、自らの判断でフッ化物配合の歯磨き粉を取捨選択できる能力を育成していくとの考えが示されています。

学校における虫歯予防は、虫歯の原因や予防の仕方の学習を通して、生涯にわたって健康な生活を送る基礎を培うことを目的としており、学校におけるフッ化物の活用については、児童生徒がフッ化物の効果などについて学習し、フッ化物配合歯磨剤、いわゆるフッ素入りの歯磨き粉を自分で

生への働きかけなど、若年層の投票意識の醸成、高齢者などに対する投票の利便性の確保を始め、あらゆる世代への政治参加の促進に向けて、国や県と連携を図り

ながら、引き続き様々な取り組みを進めてまいります。【その他の質問事項】  
・観光客の誘致(バイカーについて)

#### 【「請願・陳情」における意見陳述について】

土浦市議会では、請願及び陳情は、市民の皆様からの貴重な政策提案と位置付け、提案者の方から意見陳述をいただく機会を積極的に設けています。皆様からいただいた専門的・政策的識見については、議会の討議に反映するように努めてまいります。陳情をお待ちしております。請願・陳情等については、市HPまたは、土浦市議会事務局までお問い合わせをお願いします。

#### 土浦市議会基本条例第11条 (抜粋)

(市民参加) 第11条 議会は、市民に対し、積極的にその有する情報を発信し、説明責任を果たさなければならぬ。

2 議会は、請願及び陳情を市民による政策提案と位置付け、その調査及び審議においては、これらの提案者の求めに応じ、又は議会自ら、意見を聴く機会を設けることができる。

## 市議会のしくみ

市議会は市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。

市議会議員と市長は、4年に一度、市民の皆さまの選挙によって選ばれ、市民の代表として市政の運営を任されています。

市長は選挙公約などで打ち出した政策を進めるため、また住み良いまちづくりを進めるために、予算や条例などの案を作り、市議会議員は市民の皆さまの代表として、その案を慎重に審査し、決定しています。

これは市議会の基本的な権限である議決権であり、予算や条例を決定する権限になることから、市長は議会の議決に従って仕事(市政)を進めていきます。

このようなことから、市議会を「議決機関」、市長を「執行機関」と呼び、互いにけん制し協力し合いながら均衡を保ちつつ、同じ目的である市政の発展のために活動しています。

# 特集 — 会派の主張 —

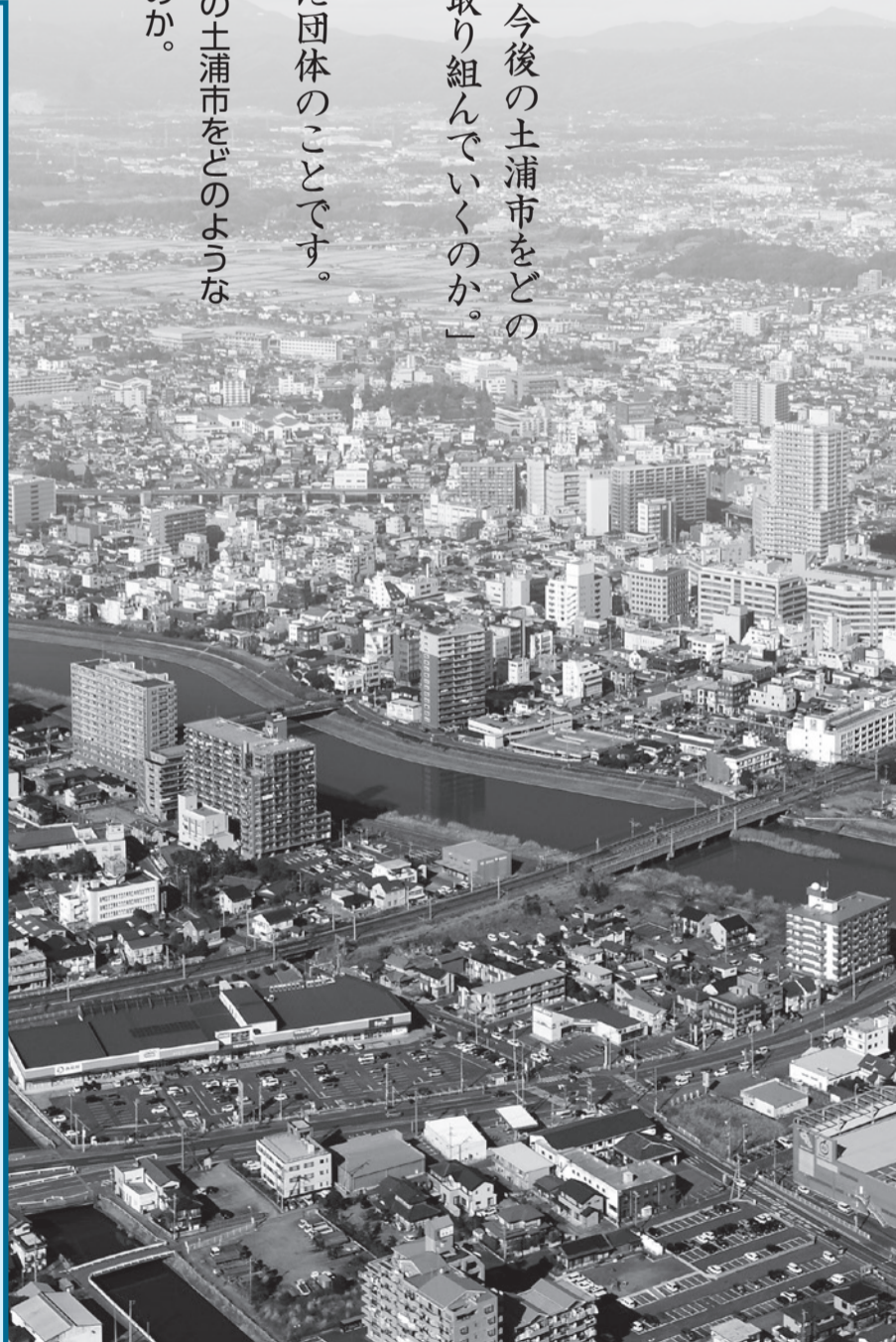
## 「会派の代表に聞きます！」

「改選に伴い、心機一転となった各派の代表に改めて主義・主張と今後の土浦市をどのような「まち」にしていきたいか。また、会派としてどのような問題に取り組んでいくのか。」等についてお聞きします。

会派とは、議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のことです。

質問事項①会派の主義・主張、②メンバー、③平均年齢、④会派として、今後の土浦市をどのような「まち」にしていきたいか。⑤会派としてどのような問題に取り組んでいくのか。

※内容については、各会派から提出されたものを原文のまま掲載しております。



### 郁政クラブ

①土浦市議会は今回の統一地方選挙から議会改革の一環として二八名の定数が四名減の二四名となりました。

改選後に旧創政会を継承した郁政クラブは、一人の新人議員を新たに加えて総勢十名の議員が所属し、議会改革を念頭に実践する保守本流を自負する会派です。郁政とは輿論を旨に政治を盛んにすべきとの思いから命名しております。

- ②内田卓男（会派代表）、矢口 清海、老原一郎、篠塚昌毅、小坂 博、下村壽郎、島岡宏明、塚原圭一、勝田達也（経理責任者）、矢口勝雄（10名）
- ③63歳
- ④旧創政会では、議会基本条例を

基本に、議会運営の改革に真正面から取り組み、一般質問に二問一答方式を取り入れ、自由討議のルール化にも取り組みました。議会改革の観点から予算・決算の審議スタイルを同一にし、これまで常任委員会に分割付託した予算審議を決算特別委員会と同じく予算特別委員会を設置して審議することとなりました。さらに市内各地での議会報告会では常に指導的・主役的存在感を発揮しました。また各常任委員会の議事録を公開すべきとの議論を重ね、今期より公開をしております。

- ⑤ これからも少子高齢化、人口減少社会と向き合い、豊かな市民生活を実現できるように、財政とのバランスを鑑み土浦市の発展のために尽力してまいります。
- ・つくば霞ヶ浦サイクリングロードの安全対策と（夜間照明・樹木の選定）、市街地を回遊できる案内サイン設置。歴史サインの再整備。
- ・霞ヶ浦総合公園の花蓮園拡張。
- ・小中学校給食配膳室にエアコン設置。放課後児童クラブの施設充実。
- ・常磐自動車道と県道土浦大曾根線が交差する飯田矢作地区にスマートインターチェンジを設置する運動。
- ・県道土浦坂東線に歩道の設置。
- ・JR神立駅にエスカレーター設置と東西自由通路に雨風よけ設置。
- ・神立駅西口土地画整理事業並びに関連事業の早期完成と、区画整理地への店舗・住居誘致の支援策検討
- ・ゲリラ豪雨に備えた市内各所の都市下水路の改修の加速。
- ・新川五号橋架け替え改修。
- ・つくばエクスプレスを土浦駅に延伸するための運動推進等

### 市民ネット21

①市政を監視し、提案する会派です。行政と付度する、こびることはしません。実力以上のことはやりません。

二つの道々があるときは、厳しい方の道を選びます。

②柏村忠志（会派代表、経理責任者）（1名）

③75歳

④⑤

- ・最悪を想定した大規模地震に対応する、「防災体制」を確立する。最新の知見を踏まえた「土浦市防災計画」をつくり、さらに防災体制の点検と整備に専念する「防災監」として、副市長ク

ラスを任命する。

・実塚地域の貝塚・古墳・般若寺の文化財を活かした「実塚貝塚自然公園」（仮称）を樹立する。土地の買収は基本的に「借地方式」で行う。

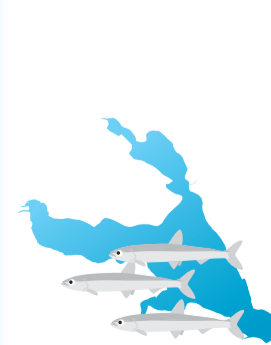
・食料・エネルギーの自給体制を拡大する。

食料の自給体制は遅々として進まないが、「自然再生エネルギー」と一体的に進める。「東海原発」の再稼働を止めさせることへの保証ともなる。

生活環境を破壊している竹林を最新の科学を活用し、「第6次産業化」を図り、仕事づくり地域を活性化する。

認知症患者の尊厳を守り、医療・介護サービスを総合的に推進。認知症患者が、安心して住み続

- ・自然環境を活かす「緑の公共事業」を推進し、自主的財源を高める。
- ・県霞ヶ浦環境科学センターは、霞ヶ浦の生態系など、もたらす経済的な価値を1千382億円と初めて作成・公表した。霞ヶ浦の自然環境を活かした「緑の公共事業」を推進へ向け、流域自治体に働きかける。



# 政新会

① 私たちは4月の改選後、志を同じくする旧「明政会」と旧「新風会」のメンバーが合流し、新たに「政新会」として会派を結成しました。

私たち「政新会」は、地方議会の最大の職責は執行部に対するチェック機能にあると考えており、土浦市議会24人の全議員が、複数の視線でその権限を行使することにより、市民の意見を行政に反映させることができるかと考えています。ともすると市議会は執行部の追認機関ではないか！ などと批判をされがちですが、少なくとも「政新会」は、その職務を忠実に実行できる議員の集団であると自負しております。いわゆる「イエスマン」にはなれない議員の集団であります。当然のことながらメンバーの6人は、それぞれが市政

に対する独自のテーマを持ち、それを実現させるべく日々の議員活動を行っています。

また、地域の実情に沿った様々な要望を執行部に繋ぐことも、議員活動の一環として積極的に行っています。ご存知の通り、すべての行政は予算がなければ動きません。年間1千億円の予算をいかに公平に配分していくかにその手腕を問われるのが行政の長ですが、その長に対して市政向上に関する様々な提案や要望を提起し、また、監視をしていく、そんな基本的な議員活動を、新会派となつた今後も継承していく事を市民の皆様にお約束いたします。

- ② 寺内 充（会派代表）、吉田博史、柳澤 明、柴原伊一郎、鈴木一彦、今野貴子（経理責任者）（6名）
- ③ 538歳
- ④ ⑤ 全国的に少子高齢化が大きな問題になっていきます。土浦市として例外ではなく、平成12年の14万4千

人をピークに現在は13万8千人と年々減少して行く一方で、高齢化比率は28%に達し、今後ますます増加傾向にあります。街の勢いは人口増がその基本であり、どうしたら外部から土浦市に転入してもらえるのか、そんな政策を取っていくことが重要だと考えます。そのため施策として、今まで以上に子育て支援や介護予防策に取り組む必要があります。また、土浦始発、東京駅・品川駅乗り入れの通勤電車を強くアピールして、首都近郊の住民を土浦市に呼び込むこと。その受け皿として魅力ある宅地の開発なども必要になります。さらに、塩漬け状態の市有地の都市計画を見直して、企業の誘致を検討することも必要です。いずれにしても土浦の個性を生かした街づくり、今いる市民がこれからも土浦に住み続けて行きたいと思える街づくりを考えていかなければ、土浦の発展は望めないでしょう。

# 公明党 土浦市議団

① 公明党土浦市議団は、立党精神である「大衆とともに」を堅持し、小さな声に耳を傾け、誰一人取り残さない社会の構築に努めてまいります。本市においても、少子高齢化や人口減少などさまざまな課題と直面している状況です。魅力と活力のある本市の将来像を見据えながら、市民のニーズを的確に把握し、効果的な施策を迅速に実行して参りたいと思っております。

- ② 福田一夫、吉田千鶴子（会派代表）、平石勝司（経理責任者）、目黒英一（4名）
- ③ 56.5歳
- ④ 全世代が安心と希望を持てるまちづくりを進めて参ります。

住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、医療や介護、生活支援などのサービスの充実を図るとともに、これからの社会の担い手育成のために、妊娠・出産・子育てに至るまでの切れ目のないサービスを提供し、より充実させてまいります。

また、近年、想定を超える自然災害が頻発する中、防災・減災への取り組みは、ますます重要な課題となっております。「一人の生命を守り抜く」防災・減災を推進してまいります。

さらには、定住人口・交流人口・関係人口の増加を図り土浦市の活性化や賑わい創出に努めてまいります。

- ⑤ SDGs（持続可能な開発目標）の理念を市の政策に反映させ、取り組みを推進。

# 日本共産党 土浦市議団

- 奈（経理責任者）（2名）
- ③ 53.5歳
- ④ なんとといっても地域経済が元気でなければなりません。

土浦市には中小企業の支援を目的とした条例は融資制度以外にありません。

私たちは中小企業振興条例の制定を提案しており、東京都墨田区をはじめ全国各地でその地域に合った条例を制定し成果を上げています。

これからも引き続き制定を求めていきます。

また「子育てするなら土浦で」と胸を張って言えるような街をめざします。公立保育所をすべて民間に売り渡し、公的保育を放棄しようとしている今の市政はそれに

逆行しています。

⑤ 100億円近くを投入して用地を買収した常名運動公園用地。地権者の同意を得られず一部未買収のまま20年以上も放置されており、大変な無駄使いとなっています。

運動公園の用途を変更し水郷公園のような都市公園の整備へ市民の合意形成を目指します。



# 土浦の未来を語る会

① 「土浦の未来を語る会」という一人会派としてスタートを切ることにしました。

これまで、会社勤めをしながら、客観的にならぬ立場で市政を見てきましたが、議員の存在が遠く感じ、活動の細部までは正直なところわかりませんでした。

我々の日常生活において一番身近で、関わりの深い市政に対し、より多くの皆様に興味や関心を持っていただく必要があります。そのためにも市民の目線で市政を見つめ、新たな行政課題を的確に把握し、地域住民の声に真摯に

耳を傾けることが重要だと考えています。

② 奥谷 崇（会派代表者、経理責任者）（1名）

③ 48歳

④ この選挙戦を通じて、市民の皆さまには次の政策を訴えてまいりました。

第1に、仕事と子育ての両立支援、各種保育制度の拡充を目指し、安心して子育てができる環境整備に取り組みまいります。土浦の諸制度を魅力的に感じ、市外から移り住んでいただけるような街づくりを推進します。

第2に、公共交通やインフラ整備、買い物弱者に寄り添った行政支援といった、時代にあった住まい

よい街づくりに取り組んでまいります。

第3に、各種イベントを活用した町おこしの推進、中心市街地の活性化、地域コミュニティの強化を進め、賑わいのある街づくりと地域活性化に取り組めます。

第4に、地域の特産品の第6次産業化を促進し、それらを活かした産業振興に取り組めます。

⑤ これらの政策を実現するために、市民の皆さまからのご意見、ご協力は欠かすことはできません。4つの政策以外にも、皆さまの「声」をしっかりと聴き、暮らしやすい土浦、賑わいのある土浦の街づくりのために活動してまいります。

《特集企画》  
**【新人議員ってどんな人？】**

特集企画として、新人議員4名について紹介します。(議席順)



議席番号1番  
日黒 英一 議員

**【所属会派】**

公明党土浦市議団  
**【立候補したきっかけ】**

発達障害(自閉症)を持って生まれてきた長男を通して、福祉の大切さを深く感謝しました。土浦市の福祉を更に充実していくことで、大好きな土浦に恩返しをしたいと思い、立候補しました。

**【議会の印象は？】**

6月10日に初めて一般質問に立たせて頂きましたが、緊張感に満ち、土浦の方向性を決める非常に重みのある場であると改めて認識致しました。  
**【今の土浦市をどう思う、どうしたい?】**  
 土浦は、古くから水運を通じて栄えた歴史のある街です。つくば霞ヶ浦りんりんロードによるサイクリング人口の増加に代表されるように、この恵まれた湖水資源の活用によって、無限の伸びしろがあると確信しています。市民の皆さまと共に、土浦の魅力を更に創造できるよう、尽力して参ります。

**【抱負市民へメッセージ】**  
 小さな声を大切に、誰一人取り残さない街作りを心掛けて参ります。ご意見、ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

**【座右の銘】**  
 「スピード! スマイル! スマート!」を心掛けています。  
**【自分を一言で表現すると】**  
 「やり抜く男」です。  
**【好きな食べ物】**  
 カツカレー  
**【土浦で好きな場所】**  
 霞ヶ浦総合公園、霞ヶ浦文化体育会館のトレーニング室  
**【土浦でよく出没する場所は?】**  
 土浦市役所



議席番号5番  
田子 優奈 議員

**【所属会派】**

日本共産党土浦市議団  
**【立候補したきっかけ】**

命や暮らしを大切に社会を実現したいという思いを、何か行動に表せないかと考えていた時に、挑戦してみてもどうかと声をかけていただいたことがきっかけです。

**【議会の印象は?】**

やはり女性が圧倒的に少ないと感じました。  
**【今の土浦市をどう思う、どうしたい?】**  
 高すぎる国保税・介護保険料、県内一高いゴミ袋、公立幼稚園・保育所をなくしていく方針、そしてコミュニティバス運行に対する消極的な姿勢は、本当に市民のことを考えているのか?と疑問を持たざるを得ません。もっと

市民のリアルで多様な声を反映させ、より暮らしに寄り添う市政を実現したいと考えています。  
**【抱負市民へメッセージ】**  
 暮らしに寄り添う市政を実現するためにがんばります。

**【座右の銘】**  
 横行君子(蟹は横に歩くので、周りに左右されず我が道を行く君子にたとえられ、中国では蟹のことをこう呼んでいるそうです。) 権力に屈せず、我が道を行く蟹のように、信じた道を進みたいと考えています。  
**【自分を一言で表現すると】**  
 マイペース  
**【好きな食べ物】**  
 チョレート菓子と焼きそば  
**【土浦で好きな場所】**  
 霞ヶ浦総合公園  
**【土浦でよく出没する場所は?】**  
 どこにでも出ます。



議席番号7番  
奥谷 崇 議員

**【所属会派】**

土浦の未来を語る会  
**【立候補したきっかけ】**

子どもの頃から現在まで、私を育ててくれた地域の皆さまへの恩返しとして立候補を決意しました。

**【議会の印象は?】**

初めは難解な議会用語になじめるか不安でした。  
**【今の土浦市をどう思う、どうしたい?】**  
 子どもからお年寄りまで、笑顔のあふれる街にしたいと思っています。

皆さまと会話をすることによって、市の現状を把握したいと考えています。また、私という人間を知っていただきたいと思っておりますので、気軽に声をかけ下さい。  
**【座右の銘】**  
 至誠一貫  
**【自分を一言で表現すると】**  
 真面目  
**【好きな食べ物】**  
 チャーハン、刺身、肉料理  
**【土浦で好きな場所】**  
 霞ヶ浦が一望できる霞ヶ浦総合公園、桜が咲く季節の桜川沿いと乙戸沼公園、母校土浦三高の桜並木  
**【土浦でよく出没する場所は?】**  
 市役所がある土浦駅周辺



議席番号8番  
矢口 勝雄 議員

**【所属会派】**

消防団、PTAを始め多くの地域ボランティア活動に従事してきた、この大好きな土浦をより良くしたいと強く思うようになったためです。

**【議会の印象は?】**

自分の名前が付いた席に、初めて着いた時の気持ちは忘れません。ここで土浦市の将来に関わる議決をすると思うと、自然と背筋が伸びます。  
**【今の土浦市をどう思う、どうしたい?】**  
 市民が土浦市に対して自信を無くしていると思います。魅力溢れるまちであるとの誇りを持つていただけるようにしていきたい。

**【抱負市民へメッセージ】**  
 私の特徴を活かし、一つ一つ課題に正面から向き合い、誠実に対処していきます。市民の皆さまも土浦の発展にお力を貸してください。  
**【座右の銘】**  
 自分の仕事、自分の言葉、そして友に正直であれ  
**【自分を一言で表現すると】**  
 言い出した事は最後までやらないと気が済まない性格です。また、何事も楽しむのがモットーです。

**【好きな食べ物】**  
 好き嫌いはありませんが、一つだけあげるとすると「カレー」。  
**【土浦で好きな場所】**  
 「穴塚大池」  
 自然あふれる里山が大好きです。時間がある時にオートバイで行き、一人でお茶をたてのんびりしています。

**【土浦でよく出没する場所は?】**  
 「霞ヶ浦湖畔」夕暮れ時に、こちらもオートバイや自転車で行ってポイントしたりしています。

〜議会からのお知らせ〜

**第3回定例会日程について**

令和元年第3回定例会は、昨年まで、第3回(9月)定例会で、決算特別委員会を設置し、第4回(12月)定例会までに、当該年度の決算について審議されておりましたが、今年度から、第3回定例会(9月)の会期日程を延長し、決算特別委員会を設置し、会期中に審議することとなりました。

政務活動費収支報告書等をホームページから見られます!

土浦市ホームページで平成30年度分からの政務活動費の収支報告書と行政視察報告書が見られるようになりました。土浦市のホームページから、土浦市議会、各会派政務活動費、平成30年度政務活動費の報告を選択し、ご覧下さい



**【編集後記】**

今回改選され、そして令和になって、初めてでもある6月定例会は無事終了しました。今回の一般質問では、新人4人全員が初登壇を果たしました。各々緊張しつつも、問いたいことや要望をしっかりと伝えることができたと思います。また、議会の傍聴に多くの市民の方々にお越しいただきありがとうございます。これから議会だよりで、市民の皆さまに、お伝えしていきたいと考えております。連日猛暑が続いておりますが、どうかお体をご自愛ください。

(委員 矢口勝雄)

令和元年第3回定例会日程

日	曜	開議時間	
8/23	金		議会運営委員会・招集告示
24	土		
25	日		
26	月		一般質問通告開始
27	火		一般質問通告締め切り
28	水		
29	木		
30	金		請願・陳情受付締め切り
31	土		
9/1	日		
2	月		
3	火	午前10時	本会議(招集日)
4	水		
5	木		
6	金		休会(議案等の調査)
7	土		
8	日		
9	月	午前10時	本会議(一般質問)、議案質疑通告締め切り
10	火	午前10時	本会議(一般質問)
11	水	午前10時	本会議(一般質問・議案質疑)
12	木		休会(決算特別委員会全体会)
13	金		休会(常任委員会・決算特別委員会分科会)
14	土		
15	日		休会
16	月		
17	火		
18	水		休会(常任委員会・決算特別委員会分科会)
19	木		
20	金		休会(決算特別委員会 現地調査、全体会)
21	土		
22	日		休会
23	月		
24	火		休会・討論通告締め切り(委員会終了日の翌日まで)
25	水	午前10時	本会議(最終日)

広報広聴委員会

委員長	平石 勝司
副委員長	島岡 宏明
委員	矢口 勝雄
委員	勝田 達也
委員	今野 貴子
委員	小坂 貴博
委員	福田 一夫
委員	海老原 一郎

**【市民のみなさまからのご意見募集!】**

広報広聴委員会では、みなさまに読んでいただける議会だよりを作成するにあたり、ご意見・ご要望を募集いたします。「議員のココが知りたい」「こんな特集を組んでほしい」という事項がありましたら、下記までお寄せください。  
 〒300-8686 土浦市大和町9番1号  
 土浦市議会事務局 FAX:029-826-3379  
 メールの場合、土浦市議会ホームページの「お問い合わせ」の中の「お問い合わせフォーム」から送信願います。